

令和8年度 指定管理施設の管理運営に関する月次評価について

施設所管課名：建設部公園緑地課

1 施設概要

施設名称	くりはま花の国ほか1箇所
指定管理者名	くりはまフラワーパートナーズ
指定期間	令和8年4月1日～令和13年3月31日（5年間）

2 月次評価

評価月	評価
4月	各公園とも適切に管理運営が行われ、市と十分な連絡がなされている。 くりはま花の国では、日々のきめ細やかや管理により満開のネモフィラやチューリップが園内を彩っていた。また、「ポピー・ネモフィラまつり」を迎え、園内はきれいな状態が保たれていた。積極的なプロモーションにより、新聞を含めた媒体に多く取り上げられるなど市内外から注目が集まり、見頃を迎えた天空の花畑のネモフィラが来園者到大変好評であった。 また、ポピー園では額縁やブランコ風ベンチなどフォトスポットも設置され、ポピー満開に向けて準備が進められていた。 さらに、自主事業である「ヒストリックカーデイ」では多くの来園者で賑わい、今年も大盛況で合った。 ペリー公園では、定期的な清掃により、利用者が快適に公園施設を利用できるよう努めていた。また、利用者からの意見や要望に対し適切な対応が行われている。
5月	各公園とも、各施設の点検及び清掃が適切に実施されている。 くりはま花の国では、「ポピー・ネモフィラまつり」が開催され、見頃を迎えたポピーが来園者到大変好評であった。ポスターの掲出、チラシの配架、観光情報誌、新聞への掲載のほか、テレビ、ラジオ、ホームページでの積極的な告知を行っていたことは評価できる。来年は、GW期間中にポピーの生育が進んでいる状態を期待したい。また、自主事業である「ダンボール迷路」や「手作りおもちゃ体験」では、多くの家族連れが参加し、好評であった。 ペリー公園では、雑草が多い季節ではあるものの、定期的な除草および清掃により、利用者が快適に公園施設を利用できるよう努めていた。GWを迎え、多くの来園者に対して館内や記念碑等のガイドを適切に実施していた。

6 月	各公園とも適切に管理運営が行われている。 くりはま花の国では、青い花まつりが開催され、アジサイやアガパンサスが見ごろを迎えていた。また、「ボタニカルアート教室」や「フラワーアレンジメント教室」などの自主事業を行うとともに、第1駐車場、第2駐車場の各門には夏用のウェルカムボードを設置し、来園者の目を楽しませていた。 ペリー公園では、除草や松の手入れが行われ、ペリー上陸記念式典およびペリー祭に向けて準備が進められていた。また、看板の再設置やベンチの脇掛け部分の修繕を行い、来園者が快適に過ごせるように努めていた。館内・記念碑ガイドについても高い評価を得ている。
7 月	各公園とも適切に管理運営が行われている。 くりはま花の国では、ヒマワリが咲きはじめ、多くの来園者の目を楽しませていた。また、「ボタニカルアート教室」や「フラワーアレンジメント教室」などの自主事業を行うとともに、レストランではペリーまつり花火大会特別営業を行い、利用者がゆっくり花火を楽しむ場を提供していた。 ペリー公園では、現地スタッフの日常管理により、定期的に除草や清掃が行われ、来園者が快適に公園施設の利用ができるように努めた。特にペリー上陸記念式典に向けて樹木の剪定や環境の美化を徹底して行うとともに、まつり後のゴミの清掃等も適切に行われていた。夏休み期間には多くの来館者が訪れ、館内・記念碑ガイドも好評であった。
8 月	各公園とも適切に管理運営が行われている。 くりはま花の国ではヒマワリまつりをむかえ、正門のウェルカムボードと大規模花畑一面のヒマワリが来園者を出迎えていた。新たな取り組みであった畑の中に入って写真や動画をとれるスポットにおいて、多くの来園者が写真撮影を楽しんでいた。ヒマワリの開花情報については、HPおよびInstagramで積極的に発信し、まつり期間中の来園者数が昨年度より増加した点は評価できる。まつり終了後は、ヒマワリを細砕してコスモスの肥料として活用し、10月からのコスモスまつりに向けて準備を行っていた。また、人気のイベント「昆虫王者決定戦」を開催し、自然や命の大切さを伝える貴重な機会を提供していた。 ペリー公園では、現地スタッフの日常管理により、定期的に除草や清掃が行われ、来園者が快適に公園施設の利用ができるように努めた。特に、海岸利用者のゴミの不法投棄や水道の不正利用に対しては、注意喚起および清掃を適切に行っていた。また、夏休み期間に多くの来館者が訪れ、館内・記念碑ガイドが好評であった。